

秩父盆地・西の玄関口、赤平川流域を訪ねるコース



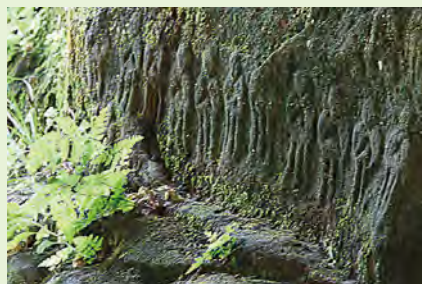
赤平川は秩父帯・山中地溝帯から流れ出し、新第三系を侵食して巨大な露頭をつくり、盆地北隅で荒川に注ぐ。

秩父鉱山の鉱石運搬索道の中継所跡。朝鮮戦争の頃、ここからトラック輸送も併用され、索道は三峰口駅までのびていた。



(昭和40年頃)

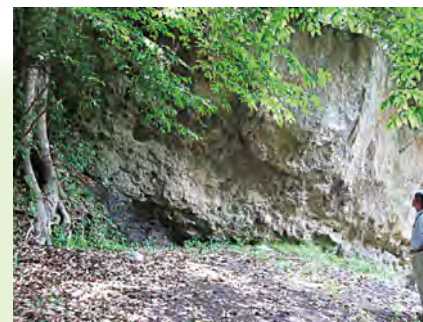
秩父盆地の新第三系の最下部が露出。観音院付近の凝灰質砂岩(子の神層)には多くの磨崖仏、岩殿沢石は門前の仁王様や秩父各地の石仏に利用された。牛首峠の沢には花崗岩の礫、地藏寺付近には貝化石がある。



観音院
札所31番



秩父の地形は時としてこんな「逆転層(上層が暖かく、下層が冷たい)」も演出することがある。(秩父市大田地内)



左岸の崖に「不整合」。上位は礫岩や砂岩(新第三系) 下位は粘板岩(秩父帯)。境界部の礫岩は「不整合」の特徴である「基底礫岩」。

至長瀬
前原の不整合

二子山 古生代の石灰岩の山。周囲の泥岩からジュラ紀の放散虫化石が発見され中生代の付加体となった。盆地西の出入り口、志賀坂峠の向こうに「漣痕化石(さざ波の跡)」や「恐竜博物館」がある。



尾ノ内溪谷

両神山より流れ出る急峻な溪谷。近年、地元住民手作りのプロジェクト「氷柱まつり」が人気。



小鹿野町の西端にそびえるチャートの山「両神山」。

皆本沢と峠

皆本沢の林道わきに山中層の見事な褶曲がみられる。



山中地溝帯の東の端、左岸に白亜系と新第三系の不整合。近くの「田の頭」地域は稲作の最上流部、小鹿野用水の取水堰や旧三田川村役場のレトロな建物も見られる。

犬木の不整合

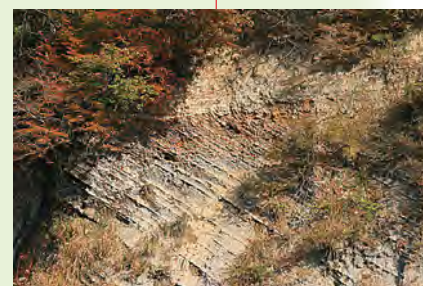
0 1 2km
およその距離の目安

伊豆沢河原

傾斜した新第三紀の地層の上に第四紀の砂礫が重なる不整合。海底地滑りによる褶曲した地層も見られる。



「日本の地質百選・ようばけ」。崖の上半部は砂岩と泥岩の互層(鷲の巣層) 下半部は泥岩層(奈倉層)。おがの化石館には宮沢賢治の歌碑がある。近くには奈倉館跡や「女歌舞伎」で有名な妙見神社がある。



取方・小坂下、右岸に「不整合」や海底地すべりによる「スランプ褶曲」(西方の隆起にともない海底に積もった地層がすべり落ちてできた)。

かつての交通の要衝。養蚕地帯だったが小鹿野用水(昭和34年)の完成により水田が倍増。尾田時丘陵や武甲山・秩父帯の山々の絶景ポイント。

旧寿旅館

小鹿野町観光交流館(旧寿旅館)には、若き地質学徒であった宮沢賢治一行の宿泊記録が残る。

取方

不整合

スランプ褶曲
おがの化石館
ようばけ

秩父市大田の田園